

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、**JIS X 4063 : 2000** “仮名漢字変換システムのための英字キー入力から仮名への変換方式”として制定されたものである。

仮名漢字変換システムのための 英字キー入力から仮名への変換方式

Keystroke to KANA Transfer Method Using Latin Letter Key for Japanese Input Method

1. 適用範囲 この規格は、仮名漢字変換システムのための英字キー入力から仮名への変換方式を規定する。この規格は、英字キー入力をよみ文字列に変換する規則を規定する。この変換された仮名は、仮名漢字変換のよみ文字として用いられるか又はそのまま表記文字として用いられる。

この規格は、キー入力時の変換方式を規定するものであって、日本語のローマ字の標準表記を規定するものではない。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版を適用する。

JIS X 0201 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合

JIS X 0208 7ビット及び8ビットの2バイト情報交換用符号化漢字集合

3. 定義 この規格で用いる用語の定義は、次のとおりとする。

a) **仮名漢字変換** 入力された文字列を、辞書を参照して対応する日本語文字列に変換すること。

b) **子音字** b, c, d, f, g, h, j, k, l, m, n, p, q, r, s, t, v, w, x, y, z。

備考 w, y は半母音を表現するのに使われるが、この規格では子音字と呼ぶ。

c) **母音字** a, e, i, o, u。

d) **よみ文字列** 仮名漢字変換における、単語の読みとなる文字列。

4. 変換方式 変換方式は、表1及び表2による。仮名又は長音符号を入力するために、表の上段のラテン文字の並び又は記述記号が入力された場合、それぞれ下段の仮名又は長音符号に変換する。これらの表では、平仮名で示す。

備考 表1には、国語、外来語及び外国の地名・人名を入力するために一般的に用いる仮名並びに JIS X 0208 で規定する仮名を入力するためのローマ字を規定する。表2には、外来語や外国の地名・人名を原音や原つづりになるべく近く表記しようとする場合に用いる仮名を入力するためのローマ字を規定する。

“n” と “y” 又は母音字との並びの変換は、表1による。“n” と “'” (APOSTROPHE) との並び (“n'”) 又は “n” の並び (“nn”) は、はつ（撥）音の仮名 “ん” に変換する。これら以外の文字が “n” に続いて入力されたとき、“n” は、はつ（撥）音の仮名 “ん” に変換する。“m” は、続いて “m”, “b”, “p” が入力

されたとき、最初の“m”をはつ（撥）音の仮名“ん”に変換してもよい。

“n”以外の子音字は、続いて同じ子音字が入力されたとき、促音の仮名“っ”に変換する。ただし、“mm”の最初の“m”をはつ（撥）音の仮名“ん”に変換するときは、この規定を適用しない。“t”は、続いて“c”が入力されたとき、“t”を促音の仮名“っ”に変換してもよい。

5. 適合性 この規格に適合する処理系は、**表 1**に規定する変換方式を実装しなければならない。**表 2**に規定する変換方式は実装することが望ましい。この規格に適合する処理系は、**表 2**の実装している部分を明示しなければならない。

また、“m”、“b”、“p”の前の“m”をはつ（撥）音に変換し、“c”の前の“t”を促音に変換する場合、このことを明示しなければならない。

表 1

直音表記

a	i	u	e	o					
あ	い	う	え	お					
ka	ki	ku	ke	ko	ga	gi	gu	ge	go
か	き	く	け	こ	が	ぎ	ぐ	げ	ご
sa	si	su	se	so	za	zi	zu	ze	zo
	shi					ji			
さ	し	す	せ	そ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ta	ti	tu	te	to	da	di	du	de	do
	chi	tsu							
た	ち	つ	て	と	だ	ち	づ	で	ど
na	ni	nu	ne	no					
な	に	ぬ	ね	の					
ha	hi	hu	he	ho	ba	bi	bu	be	bo
		fu							
は	ひ	ふ	へ	ほ	ば	び	ぶ	べ	ぼ
					pa	pi	pu	pe	po
					ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
ma	mi	mu	me	mo					
ま	み	む	め	も					
ya		yu		yo					
や		ゆ		よ					
ra	ri	ru	re	ro					
ら	り	る	れ	ろ					
wa	wyi		wye	wo					
わ	ゐ		ゑ	を					

よう (拗) 音表記

kya	kyu	kyo	gya	gyu	gyo
きや	きゅ	きょ	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
sya	syu	syo	zya	zyu	zyo
sha	shu	sho	ja	ju	jo
しゃ	しゅ	しょ	じゃ	じゅ	じょ
tya	tyu	tyo	dya	dyu	dyo
cha	chu	cho			
ちや	ちゅ	ちょ	ぢゃ	ぢゅ	ぢょ
nya	nyu	nyo			
にや	にゅ	にょ			
hya	hyu	hyo	bya	byu	byo
ひや	ひゅ	ひょ	びゃ	びゅ	びょ
			pya	pyu	pyo
			ぴゃ	ぴゅ	ぴょ
mya	myu	myo			
みや	みゅ	みょ			
rya	ryu	ryo			
りや	りゅ	りょ			

表 1 (続き)

はつ（撥）音表記					
	n				
	n'				
	nn				
	ん				
促音表記 1					
	xtu				
	子音字を重ねる				
	っ				
長音符合 1					
	-	(HYPHEN-MINUS)			
	ー	（長音符号）			
外来音表記					
			sya		
			she		
			しえ		
			tye		
			che		
			ちえ		
	tsa		tse	tso	
	つあ		つえ	つお	
		thi			
		てい			
	fa	fi	fe	fo	
	ふあ	ふい	ふえ	ふお	
			zye		
			je		
			じえ		
		dhi			
		でい			
			dhu		
			でゆ		
小書きの仮名					
	xa	xi	xu	xe	xo
	あ	い	う	え	お
	xka			xke	
	か			け	
	xya		xyu		xyo
	や		ゆ		よ
	xwa				
	わ				

表 2

外来音等表記					
	jya	jyu	jyo		
	じゃ	じゅ	じょ		
	cya	cyu	cyo		
	ちゃ	ちゅ	ちょ		
		t'i			
		てい			
	hwa	hwi	hwe	hwo	
	ふあ	ふい	ふえ	ふお	
		d'i			
		でい			
		d'yu			
		でゅ			
			ye		
			いえ		
		whi	whe	who	
		wi	we		
		うい	うえ	うお	
	kwa	kwi	kwe	kwo	
	qa	qi	qe	qc	
	くあ	くい	くえ	くお	
		tsi			
		つい			
		twu			
		t'u			
		とう			
	gwa				
	ぐあ				
		dwu			
		d'u			
		どう			
	va	vi	vu	ve	vo
	うゝあ	うゝい	うゝ	うゝえ	うゝお
		thu			
		t'yu			
		てゅ			
		fyu			
		hwyu			
		ふゅ			
		vyyu			
		うゝゅ			
促音表記 2					
	xtsu				
	っ				
長音符号 2					
	ˆ	(CIRCUMFLEX ACCENT)			
	ー	(長音符号)			

電子文書処理システム標準化調査研究委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	斎 藤 信 男	慶應義塾大学環境情報学部
(幹事)	深 見 拓 史	凸版印刷株式会社生産・技術・研究本部
(委員)	荒 武 謙一郎	株式会社管理工学研究所
	池 田 克 夫	京都大学大学院情報学研究科知能情報学専攻
	小野沢 賢 三	社団法人日本印刷技術協会研究調査部
	桐 谷 俊 雄	社団法人日本事務機械工業会技術部
	小 竹 毅 志	日本電気株式会社インフォメーションシステム部
	小 林 茂	日本ユニシス株式会社エンタープライズサーバーシステム部 HMP 適用技術室
	小 町 祐 史	松下電送システム株式会社ドキュメント技術研究所
	芝 野 耕 司	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
	田 中 裕 一	株式会社ジャストシステムデジタル文化研究所
	中 原 康 一	株式会社東芝情報通信・制御システム事業本部 SI 事業統括部
	永 松 莊 一	通商産業省機械情報産業局電子機器課
	中 村 茂 之	日本アイ・ビー・エム株式会社開発製造スタッフオペレー ションズ
	橋 爪 邦 隆	通商産業省工業技術院標準部情報電気規格課
	松 下 嘉 哉	富士通株式会社ソフトウェア事業本部企画部 1 計画部
	宮 崎 猛	社団法人日本新聞協会技術コンサルタント
	安 田 寿 明	文教大学情報学部広報学科
	渡 辺 信 一	教育出版株式会社教育産業局ソフト開発部
(事務局)	渡 辺 清 次	財団法人日本規格協会情報技術標準化研究センター
	牧 野 誼	財団法人日本規格協会情報技術標準化研究センター

電子文書処理システム標準化調査研究委員会 WG3 構成表

	氏名	所属
(主査)	芝 野 耕 司	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
(幹事)	荒 武 謙一郎	株式会社管理工学研究所
(幹事)	田 中 裕 一	株式会社ジャストシステムデジタル文化研究所
(幹事)	古 田 啓	お茶の水女子大学文教育学部言語分科学科
(委員)	小野沢 賢 三	社団法人日本印刷技術協会研究調査部
	河 野 勝 也	日本大学短期大学部商経学科
	小 山 泰 男	エー・アイ・ソフト株式会社取締役開発設計部
	今 昭	日本電気株式会社ミドルウェア事業部第二技術部
	田 代 敏 久	マイクロソフトプロダクトディベロップメントリミテッド IM&PA 開発統部
	豊 島 正 之	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
	中 里 茂 美	株式会社東芝マルチメディア技術研究所開発第五部
	萩 原 健	株式会社ボックス
	半 田 剣 一	電子技術総合研究所知能情報部
	森 直 樹	日本アイ・ビー・エム株式会社大和研究所ソフトウェア技術 推進
	諸 星 博 司	富士通株式会社第一ソフトウェア事業部第四開発部
	山 下 康 成	オムロンソフトウェア株式会社技術開発部
	山 本 喜 大	松下電器産業株式会社マルチメディア開発センター情報グ ループ
(工業技術院)	須 崎 琢 也	通商産業省工業技術院標準部情報電気規格課
	堀 越 裕太郎	通商産業省工業技術院標準部情報電気規格課

(事務局)

小笠原 康 直
渡 辺 清 次
牧 野 誼

財団法人日本規格協会情報技術標準化研究センター
財団法人日本規格協会情報技術標準化研究センター
財団法人日本規格協会情報技術標準化研究センター